

こいのぼりのお話

鯉は古くから立身出世の象徴とされてきました。中国の故事・伝説から「黄河の上流にある龍門の急流をさかのぼることができた鯉は、龍になって天をかける」と言われ、出世のたとえに用いられるようになりました。日本において鯉が縁起物とされたのは、江戸時代中期といわれています。五色の吹流しは、幼子の無事な成長を願って「魔よけ」の意味で飾られるようになりました。

参照

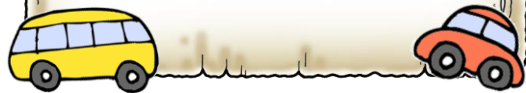
～鯉のぼりと五色の吹流しのお話～



GW楽しくお過ごしください

ゴールデンウィークなどで楽しい計画を立てておられるご家庭もあるかと思いますが、今年はこのほかに人出が多いようですので、無理のない計画を立てて、楽しい連休をお過ごしください。

近くの公園で、のんびり過ごすのもお子さんにとっては、楽しい思い出になると思います。



令和5年 5月の園だより



私は、僕は、これでいいんだ!!

1年前、開園するときに植樹したハナミズキの木にきれいな白い花がたくさん咲いています。一つひとつの花が空に向かい、ハナミズキの歌の歌詞のように空を押し上げているようで、気持ちの良い季節となりました。

新入園児さんの中には、まだ保護者の方と離れるときに涙が出るお子さんもおられますが、保育者にしばらく抱っこされて安心すると好きなあそびを見つけてあそび始めています。ご心配をおかけしますが笑顔で手を振れる日ももうすぐです。

この時期は、卒園したピカピカの一年生がランドセルを背負って、「ただいま」と言いながら、保護者の方と園を訪れてくれます。その姿はりりしく、堂々としており本当に嬉しそうです。もちろん私も嬉しくて思わず写真を撮ってしまいます。

そんな中、早くも授業参観が行われた小学校もあるようで、参観したSくんのお母さんからお子さんの様子についてお話をいただきました。その授業は、お友だちのいいところを見つけて発言するといった内容だったそうです。最初に発言したお子さんが、「OOさんは、本を読むことが上手です。」と褒めると、後から続いて発言する子どもたちもみんな褒める相手は違うけれど、本読みが上手と褒めたそうです。Sくんのお母さんは「うちのSも手を挙げて発言したのですが、SはOOさんの話し方はとてもやさしい話し方でとても素敵だと思います。と他の子と違うことを発言したのです。」と、とても嬉しそうに話してくださいました。そして「Sは、みんなと違うことを言っても、自分はこう思っているからこれでいいんだという自己肯定感がしっかり育っているように思います。すいこうでいつも褒めていただき、受け止めていただいたおかげです。」と、話してくださいました。なんて嬉しいことでしょう。乳幼児期でしっかり育てておきたい自己肯定感が育まれていると感じていただき、心から嬉しく思いました。

すいこうでは乳幼児の間に育てておきたい力の一つに自己肯定感があります。自己肯定感とは、大きくなるにしたがって自然に育まれるものではありません。そもそも自己肯定感とは何なのでしょう。今までも園だよりで何度かお伝えさせていただいているのですが、新しい方もおられるので、改めてお伝えいたします。自己肯定感

とは、だれかと比べるのではなく、ありのままの自分を好きになり、「私は、僕は、これでいいんだ。」と受け止める感覚のことです。自分はこれでいいんだと受け止められるようになるためには、赤ちゃんの時から周りの大人が「あなたはとってもいい子だね」「かわいいね。」「大好きだよ」と、ただただひたすら可愛がり、愛してあげることが大切な心の土台となっています。そして、「OOちゃんは、絵が上手だけどあなたは…。」とか「OOくんは、あなたよりずっと背が高いね。」などと、誰かと比べたりするのではなく、良いところを見つけ、しっかり褒めてあげることが必要です。Sくんは、小さいときからすいこうで育っていますが、おうちの方々は、Sくんに対して丁寧な言葉で関わり、「こんなことしたよ」という話に「そう」と笑顔で頷きながら耳を傾け、声を荒げておられる様子を見たことがありません。いつも大切に大切に関わっておられました。園では、Sくんだけではなく、どのお子さんにも興味のあることを見つけると、とことん満足するまであそび込める環境を用意し、その姿をあたかなまなざしで見守るよう心がけています。Sくんは、そういった家庭での愛情と園での関わりがうまく働いて、「失敗しても大丈夫。また挑戦しよう。自分ならきっとできる。いつかできる。」という自己肯定感が育まれていったのだと思います。

子どもたちが大きくなるころには、人間に代わってAIが活躍しているかもしれません。また、コロナのように新種の感染症が流行するかもしれません。何が起こるかかわからない、これからの時代をたくましくしたたかに生きていくためには自己肯定感が高いことは、とても大切なことなのです。すいこうの子どもたちはそういった力を付けて、どこの小学校に行っても自分らしく、そしてどんなことでも楽しさに代えて過ごしてくれることと信じています。

今年は3年ぶりに制限のないGWとなるようで、ご家族で楽しい休暇を計画されておられることと思います。GW明けにはコロナも5類に代わり、マスクをしない園生活ができればと思っておりますが、手洗いうがいなどは引き続き励行し、様々な感染状況には適宜に対応しながら楽しい保育に取り組んでまいります。

園長 上原玲子

すいこう認定こども園

子育てメッセージ

人が好き

あそびが好き

自分の周りのことが全部好き

そんな自分がいちばん好き

「好き」の感情に出会うときが一番うれしい瞬間だと思います。心がうきうきしているいろんなことに関わりたくなり、人やできごとに関わることからいろいろな感情や知恵を学びます。

子どもに必要なのは「好き」の感情との出会いです。

子育てとは、「子どもの好きを広げるお手伝い」ともいえますね。

全国私立保育園協会



G7 広島サミット開催

サミット開催にあたり、5月19日から22日までは登園自粛をお願いしております。

園は通常通りの保育を行っておりますので、ご無理のないようご協力をお願いします。